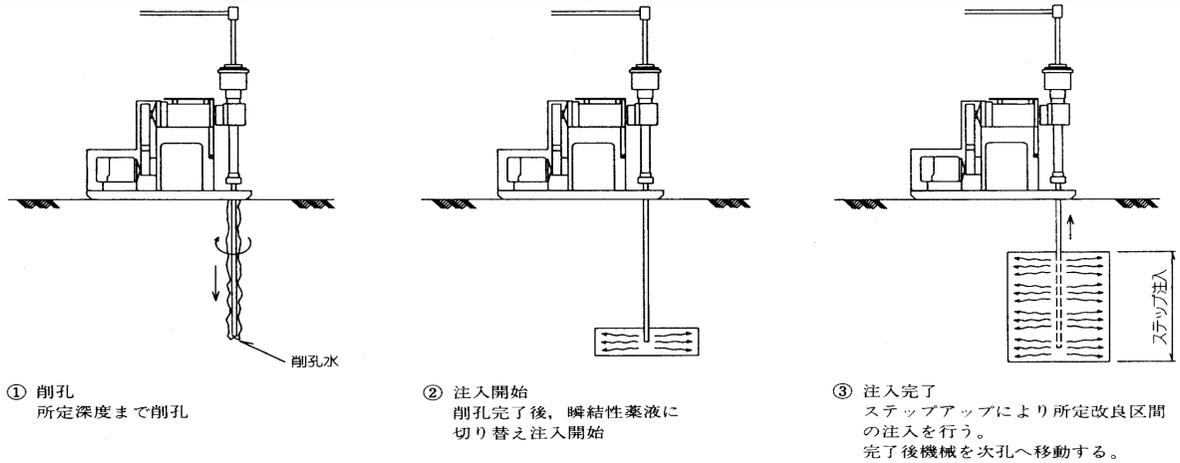


工種紹介

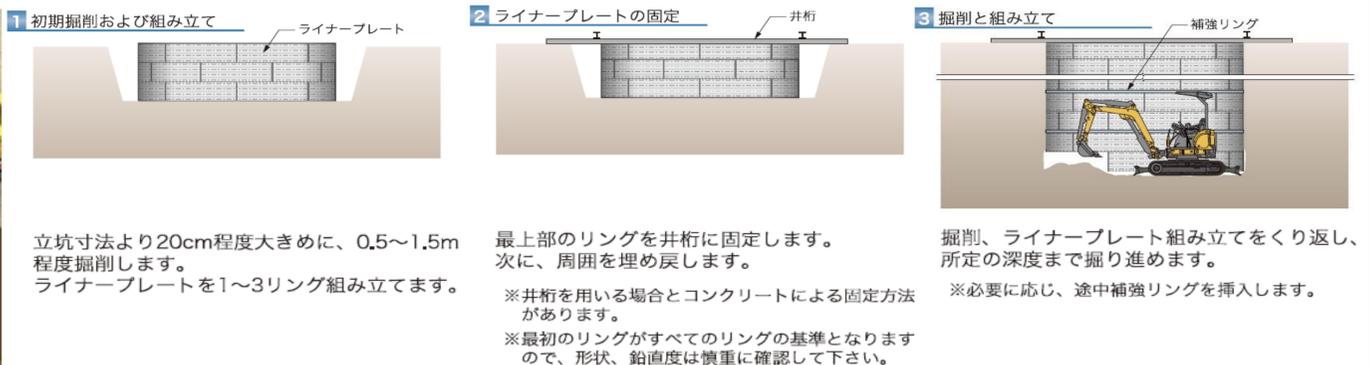
薬液注入工事



地表から約4mの高さに地下水があるため、薬液注入をし作業範囲内の地下水を止める工事です。パイプを地中に貫入していき、地中に薬液(土の隙間に入り込み、すぐ硬化する)を注入します。すぐ固まるため、地下水に溶け込むことはありません。水質検査(ph検測)も毎日行います。

今回は「無機懸濁型 エヌタイトGS-II (瞬結)」という材料を使っています。

土留め工事

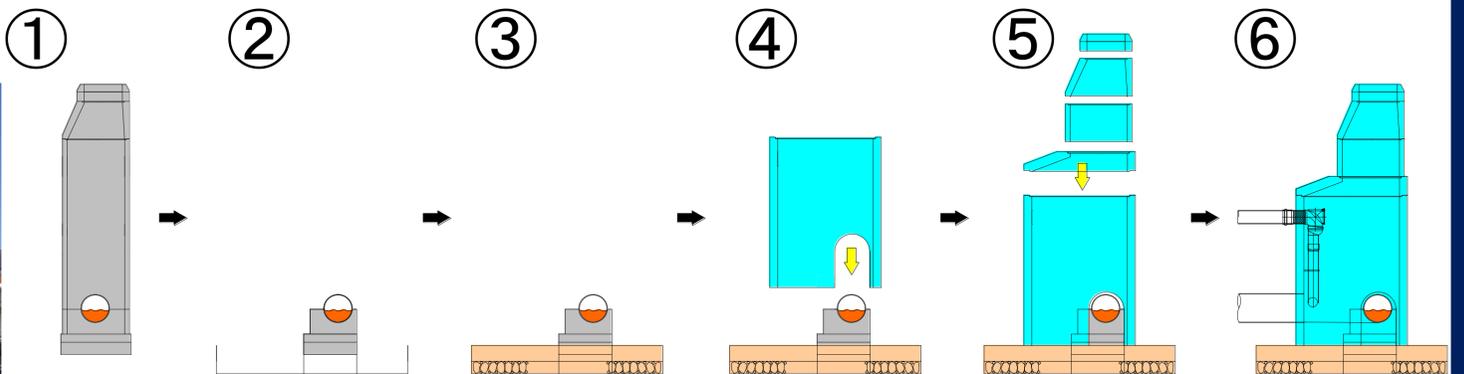


地面をそのまま掘ると土砂が崩れてくるため「土留(どどめ)」という作業をします。

今回は「ライナープレート」という物を使い土留をします。

直径3mの穴を掘り、そこにマンホールを設置します。作業をしていない時には「覆工板(ふっこうばん)」という丸い鉄板を被せ、道路を解放。車もその上を通れます。

マンホール工事



完成予想図の「①マンホール」は、経年劣化した既設のマンホールを新しくする工事です。(夜間全面通行工事)
①既設マンホールのまわりを掘りながら壊していきます(土留もしていく) ②汚水が流れる部分と基礎を残し壊す。
③既設基礎のまわりに基礎砕石、基礎コンクリートを施工する。④基礎コンクリートが固まったら新しいマンホールを被せる。⑤残りを順に積んでいく。⑥既設との隙間をコンクリートで塞ぎ、新設の管路等をつなげる。